


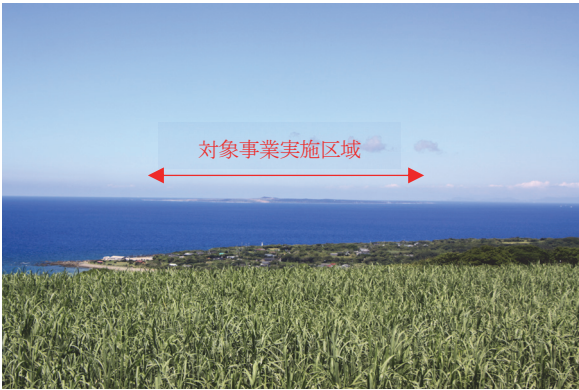
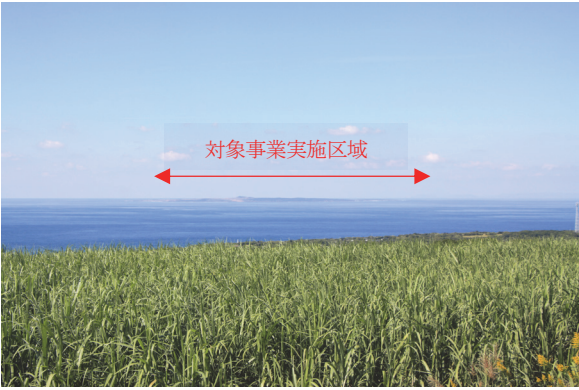

| No.11 住吉地区 | |
|---|--|
| 春季  <p>令和3年4月27日撮影</p> | 夏季  <p>令和3年8月29日撮影</p> |
| 秋季  <p>令和3年10月26日撮影</p> | 冬季  <p>令和3年12月5日撮影</p> |
| <p>対象事業実施区域の眺望状況（対象事業実施区域までの距離：約11.4km） 対象事業実施区域は、視点場から、サトウキビ畑、樹林及び海を挟んで視認できます。4季を通してサトウキビ畑の状況は変化していますが、対象事業実施区域の視認度の変化は見られませんでした。</p> | |

図-6.17.5(11) 眺望景観の状況 (No.11 住吉地区)

| No.12 長浜海岸 | |
|--|--|
| <p>春季</p>  <p>令和3年5月30日撮影</p> | <p>夏季</p>  <p>令和3年8月29日撮影</p> |
| <p>秋季</p>  <p>令和3年10月17日撮影</p> | <p>冬季</p>  <p>令和3年12月5日撮影</p> |
| <p>対象事業実施区域の眺望状況（対象事業実施区域までの距離：約20.3km）</p> <p>対象事業実施区域は、視点場から、長浜海岸の砂浜及び海を挟んで遠方にわずかに視認できます。4季を通して、対象事業実施区域の視認度の変化は見られませんでした。</p> | |

図-6.17.5(12) 眺望景観の状況 (No.12 長浜海岸)



| | |
|--|---|
| No.1 よきの海水浴場 | |
| 昼間 (10:19)  令和3年7月27日撮影 | 夕方 (19:11)  令和3年7月30日撮影 |
| 対象事業実施区域の眺望状況 (対象事業実施区域までの距離: 約10.3km) 対象事業実施区域は、視点場から、よきの海水浴場の砂浜及び海を挟んで視認できます。昼間は樹林と裸地の一部が認識でき、夕方は夕日によるシルエットとして認識できます。 | |

図-6.17.6(1) 時間帯ごとの眺望景観の状況 (No.1 よきの海水浴場)

| | |
|--|--|
| No.9 夕暉が丘 | |
| 昼間 (11:55)  令和3年8月29日撮影 | 夕方 (17:50)  令和3年5月23日撮影 |
| 対象事業実施区域の眺望状況 (対象事業実施区域までの距離: 約13.1km) 対象事業実施区域は、視点場から、樹林、西之表市街地、西之表港及び海を挟んで視認できます。昼間は樹林と裸地の一部が認識でき、夕方は夕日によるシルエットとして認識できます。 | |

図-6.17.6(2) 時間帯ごとの眺望景観の状況 (No.9 夕暉が丘)

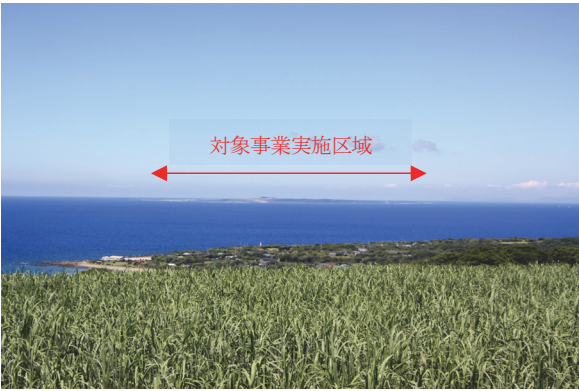

| No.11 住吉地区 | |
|--|---|
| 昼間 (11:10)  令和3年8月29日撮影 | 夕方 (18:37)  令和3年7月31日撮影 |
| 対象事業実施区域の眺望状況 (対象事業実施区域までの距離：約11.4km) 対象事業実施区域は、視点場から、サトウキビ畑、樹林及び海を挟んで視認できます。昼間は樹林と裸地の一部が認識でき、夕方は夕日によるシルエットとして認識できます。 | |

図-6.17.6(3) 時間帯ごとの眺望景観の状況 (No.11 住吉地区)

b) 夜間の状況

夜間の眺望景観の状況（2地点）を図-6.17.7に示します。



図-6.17.7(1) 夜間の眺望景観の状況（No.1 よきの海水浴場）



図-6.17.7(2) 夜間の眺望景観の状況（No.9 夕暉が丘）

(d) 主要な眺望景観の価値の把握

主要な眺望景観について、普遍価値（自然性、眺望性、利用性）及び固有価値（固有性、歴史性、郷土性、親近性）に区分し、その価値を把握しました。主要な眺望景観の価値の状況を表-6.17.8に示します。



表-6.17.8(1) 主要な眺望景観の価値の状況

| 主要な眺望景観の状況 | 価値軸 | 認識項目 | 有する価値 |
|---|------|-------------|---|
| No.1 よきの海水浴場 | | | |
|  | 普遍価値 | 自然性 | 人工物が占める割合がほとんどありません。 |
| | | 眺望性 | 眺望を遮る建物等が無く広い視野を確保できます。 |
| | | 利用性 | 季節によっては、海水浴及びサーフィンを行う人が多く利用しています。 |
| | 固有価値 | 固有性 | よきの海水浴場の砂浜及び海を挟んで対象事業実施区域を視認できます。 |
| | | 歴史性・郷土性・親近性 | 海水浴場として地元住民に親しまれています。歴史性・郷土性の価値として、岳之腰を含む馬毛島の眺望が挙げられます。 |
| No.2 雄龍・雌龍の岩 | | | |
|  | 普遍価値 | 自然性 | 人工物が占める割合がほとんどありません。 |
| | | 眺望性 | 目前に雄龍・雌龍の岩が視認できますが、その他眺望を遮る建物等が無く視野を確保できます。 |
| | | 利用性 | 近くの「おじゃりもうせ龍星館」の駐車場にて休憩する車両は多いです。雄龍・雌龍の岩まで訪れる人もみられます。 |
| | 固有価値 | 固有性 | 雄龍・雌龍の岩及び海を挟んで対象事業実施区域を視認できます。 |
| | | 歴史性・郷土性・親近性 | 雄龍・雌龍の岩として地元住民に親しまれています。歴史性・郷土性の価値として、岳之腰を含む馬毛島の眺望が挙げられます。 |
| No.3 島間岬 | | | |
|  | 普遍価値 | 自然性 | 人工物がありません。 |
| | | 眺望性 | 眺望を遮る建物等が無く広い視野を確保できますが、対象事業実施区域から距離が離れているため、視認性は低いです。 |
| | | 利用性 | 磯において、釣り及び貝類の採取を行う人など見られますが、来訪者は少ないです。 |
| | 固有価値 | 固有性 | 岩場及び海を挟んで遠方に、わずかに対象事業実施区域を視認できます。 |
| | | 歴史性・郷土性・親近性 | 島間岬として知られていますが、来訪者は少ないです。 |
| No.4 フェリー航路（鹿児島～西之表） | | | |
|  | 普遍価値 | 自然性 | 人工物が占める割合がほとんどありません。 |
| | | 眺望性 | 眺望を遮る建物等が無く広い視野を確保できます。 |
| | | 利用性 | フェリー利用客に限定されます。 |
| | 固有価値 | 固有性 | 海を挟んで対象事業実施区域を視認できます。 |
| | | 歴史性・郷土性・親近性 | 鹿児島～西之表間の地元住民の移動手段の一つとして親しまれています。歴史性・郷土性の価値として、岳之腰を含む馬毛島の眺望が挙げられます。 |
| No.5 フェリー航路（西之表～宮之浦） | | | |
|  | 普遍価値 | 自然性 | 人工物が占める割合がほとんどありません。 |
| | | 眺望性 | 眺望を遮る建物等が無く広い視野を確保できます。 |
| | | 利用性 | フェリー利用客に限定されます。 |
| | 固有価値 | 固有性 | 海を挟んで対象事業実施区域を視認できます。 |
| | | 歴史性・郷土性・親近性 | 西之表～宮之浦間の地元住民の移動手段の一つとして親しまれています。歴史性・郷土性の価値として、岳之腰を含む馬毛島の眺望が挙げられます。 |

表-6. 17. 8(2) 主要な眺望景観の価値の状況

| 主要な眺望景観の状況 | 価値軸 | 認識項目 | 有する価値 |
|---|------|-------------|---|
| No.6 板敷鼻 | | | |
|  | 普遍価値 | 自然性 | 人工物が占める割合がほとんどありません。 |
| | | 眺望性 | 眺望を遮る建物等が無く広い視野を確保できます。 |
| | | 利用性 | 観光客等の利用は少ないです。 |
| | 固有価値 | 固有性 | 岩場(板敷鼻)及び海を挟んで対象事業実施区域を視認できます。 |
| | | 歴史性・郷土性・親近性 | 板敷鼻として知られていますが、来訪者は少ないです。歴史性・郷土性の価値として、岳之腰を含む馬毛島の眺望が挙げられます。 |
| No.7 伊勢神社 | | | |
|  | 普遍価値 | 自然性 | 人工物が占める割合がほとんどありません。 |
| | | 眺望性 | 眺望を遮る建物等が無く広い視野を確保できます。 |
| | | 利用性 | 主に地元住民に利用されています。展望台の訪問者は少ないです。 |
| | 固有価値 | 固有性 | 樹林及び海を挟んで対象事業実施区域を視認できます。標高が高く(約75m)一望できます。 |
| | | 歴史性・郷土性・親近性 | 古くからの由緒ある神社で、地元住民に親しまれています。歴史性・郷土性の価値として、岳之腰を含む馬毛島の眺望が挙げられます。 |
| No.8 美浜 | | | |
|  | 普遍価値 | 自然性 | 人工物が占める割合が小さいです。 |
| | | 眺望性 | 眺望を遮る建物等が無く広い視野を確保できますが、対象事業実施区域は、手前の防波堤で部分的にさえぎられています。 |
| | | 利用性 | 磯遊び・水遊びを行う人等が見られます。主に地元住民に利用されています。 |
| | 固有価値 | 固有性 | 美浜の砂浜、海及び防波堤を挟んで対象事業実施区域の一部が視認できます。 |
| | | 歴史性・郷土性・親近性 | 磯遊び・水遊び場等として、地元住民に親しまれています。歴史性・郷土性の価値として、岳之腰を含む馬毛島の眺望が挙げられますが、手前の防波堤で部分的にさえぎられています。 |
| No.9 夕暉が丘 | | | |
|  | 普遍価値 | 自然性 | 人工物が占める割合が小さいです。 |
| | | 眺望性 | 眺望を遮る建物等が無く広い視野を確保できます。 |
| | | 利用性 | 夕方の日が沈む時間帯に景観撮影を行う人が見られます。主に地元住民に利用されています。 |
| | 固有価値 | 固有性 | 樹林、西之表市街地、西之表港及び海を挟んで対象事業実施区域を視認できます。標高が高く(約90m)一望できます。 |
| | | 歴史性・郷土性・親近性 | 西之表市内の身近な眺望の場として、地元住民に親しまれています。歴史性・郷土性の価値として、岳之腰を含む馬毛島の眺望が挙げられます。 |
| No.10 天女ヶ倉 | | | |
|  | 普遍価値 | 自然性 | 人工物が占める割合がほとんどありません。 |
| | | 眺望性 | 眺望を遮る建物等が無く広い視野を確保できます。 |
| | | 利用性 | 展望台や公園を訪れる人等が見られます。主に地元住民に利用されています。 |
| | 固有価値 | 固有性 | 樹林及び海を挟んで遠方にわずかに対象事業実施区域が視認できます。標高が高く(約220m)一望できます。 |
| | | 歴史性・郷土性・親近性 | 展望台、公園として、地元住民に親しまれています。歴史性・郷土性の価値として、岳之腰を含む馬毛島の眺望が挙げられます。 |

表-6.17.8(3) 主要な眺望景観の価値の状況

| 主要な眺望景観の状況 | 価値軸 | 認識項目 | 有する価値 |
|---|------|-------------|--|
| No.11 住吉地区 | | | |
|  | 普遍価値 | 自然性 | 人工物が占める割合がほとんどありません。 |
| | | 眺望性 | 眺望を遮る建物等が無く広い視野を確保できます。 |
| | | 利用性 | 高台の農道沿いで、来訪者は少ないです。 |
| | 固有価値 | 固有性 | 視点場から、サトウキビ畑、樹林及び海を挟んで対象事業実施区域が視認できます。標高が高く（約 100m）一望できます。 |
| | | 歴史性・郷土性・親近性 | 農道沿いの展望場所として、利用されています。歴史性・郷土性の価値として、岳之腰を含む馬毛島の眺望が挙げられます。 |
| No.12 長浜海岸 | | | |
|  | 普遍価値 | 自然性 | 人工物がありません。 |
| | | 眺望性 | 眺望を遮る建物等が無く広い視野を確保できますが、対象事業実施区域から距離が離れているため、視認性は低いです。 |
| | | 利用性 | 季節によっては、砂浜での水遊びやサーフィン等を行う人がみられます。 |
| | 固有価値 | 固有性 | 長浜海岸の砂浜及び海を挟んで遠方にわずかに対象事業実施区域が視認できます。 |
| | | 歴史性・郷土性・親近性 | 砂浜での水遊びやサーフィンの場所として、地元住民に親しまれています。 |

6.17.2 予測

(1) 飛行場及びその施設の存在及び供用

1) 予測の概要

飛行場及びその施設の存在及び供用に伴う景観資源の状況及び主要な眺望景観の状況の変化が考えられることから、その変化の程度を予測しました。景観の予測概要は、表-6.17.9に示すとおりです。

表-6.17.9 景観に係る予測の概要（施設等の存在及び供用）

| 項目 | 内容 |
|---------|--|
| 予測項目 | 景観資源の状況 主要な眺望景観の状況 |
| 影響要因 | 飛行場及びその施設の存在 |
| 予測地域 | 景観の特性を踏まえて主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域としました。 |
| 予測対象時期等 | 景観の特性を踏まえて主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観に係る環境影響を的確に把握できる時期として、飛行場及びその施設の存在時において、景観に係る影響を的確に把握できる時期としました。 |
| 予測の手法 | 主要な眺望点及び景観資源についての分布の改変の程度を踏まえた事例の引用または解析及び主要な眺望景観についての完成予想図並びにフォトモンタージュ法その他の視覚的な表現方法により予測しました。 |

2) 予測方法

(a) 景観資源の状況

主要な景観資源の改変について、事業による改変区域と景観資源の状況をオーバーレイ(重ね合わせ)し、影響の程度の予測を行いました。

(b) 主要な眺望景観の状況

主要な眺望景観の状況について、構造物の位置、形態、色彩等を踏まえフォトモンタージュ法等により予測を行いました。また、現況の眺望景観写真と供用後のフォトモンタージュから、画像に占める景観構成要素の割合を算出するとともに、眺望点から対象事業実施区域への水平見込み角及び仰角等を算出し、その変化について予測を行いました。なお、景観構成要素の割合は、時間による変動はないことから、昼間の画像を対象としました。

(c) 主要な眺望景観の価値の変化

飛行場及びその施設の存在に伴う主要な眺望景観の変化の予測結果に基づき、眺望景観の価値の変化について予測を行いました。

3) 予測結果

(a) 景観資源の状況

主要な眺望点及び景観資源は、いずれも対象事業実施区域外であるため、飛行場及びその施設の存在による影響はないものと予測しました。

(b) 主要な眺望景観の変化

a) 昼間・夕方の状況

飛行場及びその施設の存在に伴う主要な眺望景観の変化について、フォトモンタージュ法により景観構成要素の変化の影響を予測しました。主要な眺望景観の変化を図-6.17.8、景観構成要素の変化を図-6.17.9に示します。また、夕方における主要な眺望景観の変化（3地点）を図-6.17.10に示します。

各眺望点において、飛行場及びその施設の存在に伴い、眺望景観上、人工物の景観構成要素に占める割合が増加しますが、増加の割合は0.02～0.36%にとどまります。また、自然的な景観構成要素（緑地、岩場・裸地、海）の消失の割合は0.02～0.43%にとどまります。

No.1 よきの海水浴場

現況



供用後



図-6.17.8(1) 主要な眺望景観の変化 (No.1 よきの海水浴場)

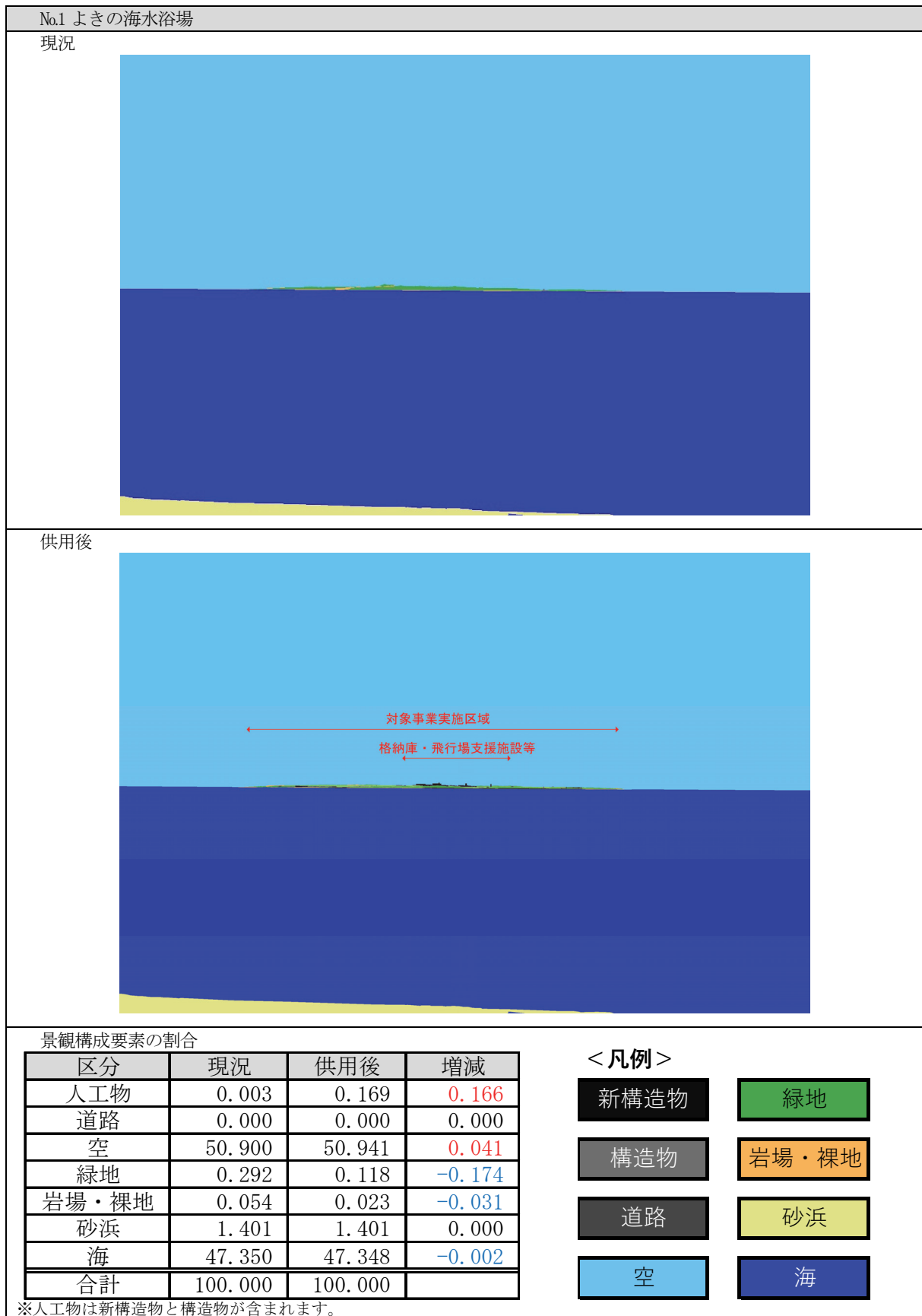


図-6.17.9(1) 景観構成要素の変化 (No.1 よきの海水浴場)

現況



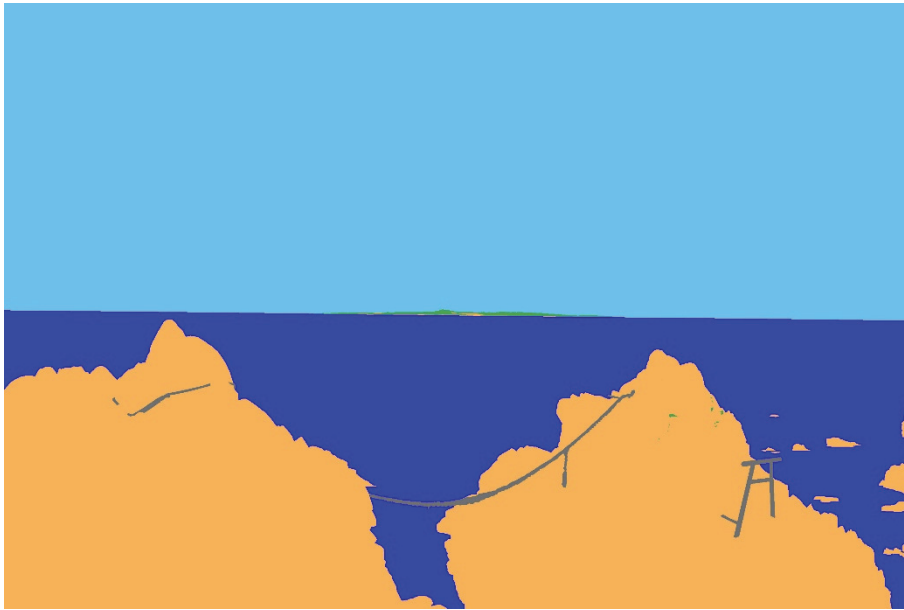
供用後



図-6.17.8(2) 主要な眺望景観の変化 (No.2 雄龍・雌龍の岩)

No.2 雄龍・雌龍の岩

現況



供用後



景観構成要素の割合

| 区分 | 現況 | 供用後 | 増減 |
|-------|---------|---------|--------|
| 人工物 | 0.467 | 0.548 | 0.081 |
| 道路 | 0.000 | 0.000 | 0.000 |
| 空 | 51.408 | 51.418 | 0.010 |
| 緑地 | 0.135 | 0.055 | -0.080 |
| 岩場・裸地 | 28.039 | 28.032 | -0.007 |
| 砂浜 | 0.000 | 0.000 | 0.000 |
| 海 | 19.951 | 19.947 | -0.004 |
| 合計 | 100.000 | 100.000 | |

※人工物は新構造物と構造物が含まれます。

<凡例>

| | |
|------|-------|
| 新構造物 | 緑地 |
| 構造物 | 岩場・裸地 |
| 道路 | 砂浜 |
| 空 | 海 |

図-6.17.9(2) 景観構成要素の変化 (No.2 雄龍・雌龍の岩)